

令和 4 年度事業報告

法人

I. 法人基本理念

社会福祉法人カリヨンの基本理念である「福祉の視点から社会貢献を考え、多様な発想の中から、今できることに挑戦する」に従い、法人経営・施設運営を実践した。

II. 令和 4 年度の取り組み

法人運営の体制を強化するため、今年度より新たに副理事長職を設置した。また、令和 5 年 1 月 1 日より理事及び評議員をそれぞれ 3 名増員した。理事会等の開催については新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、書面決議又は zoom 開催を採用した。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の予防対策に重点的に取り組んだが、令和 4 年度は全事業所で感染者が確認され、2 事業所でクラスターが発生した。障がい関係施設ではやむなく長期的に閉館する事業所もあったが、可能な限り「在宅支援」を実施し、社会参加の意欲が低下しないよう支援を継続した。高齢関係施設では、職員の新型コロナウイルス感染症罹患者はあったが利用者に波及することはなく、クラスターによる罹患者も出さなかった。面会については対面禁止としたが窓越し面会等を実施することにより、本人・家族からも喜ばれた。障がい・高齢とも多様な発想や社会資源を活用し、利用者の生活を支えた。

障がい部門では、安定した経営のため利用率向上(95%~115%)を目指したが、新型コロナウイルス感染症拡大や天候不良による事業所閉館の影響もあり成人事業所では利用率 94%、児童事業所では 105%の利用率となった。施設整備については、可能な限り各補助金・助成金の活用を検討し、令和 4 年度は、重度障がい者グループホーム建設費(清水基金)他 3 件、計 16,720,000 円が採択された。

高齢部門では、ライムにおける令和 2 年度のクラスターからの立て直しや令陽の開設 3 年目を迎え早期の満床化、またようこそ経営安定・維持等を目標に行ったが、ライムでは入所率が 88.2% (在籍率 94.3%)、令陽では 87.9%であり満床には至らなかった。今後も一進一退の運営が予想されるが、施設内の受け入れ体制を整えていきながら満床に近づくよう取り組んでいく。ようこそについては平均利用率 6.3 人/日で 52%であったが、年度末には 7.5 人/日で 62.5%となっており、今後も見学や体験等を受け入れながら満床を目指していく。

令和4年度における重点項目の結果を下記に報告する。

1.障がい部門

具体的な重点目標

- 1 感染症対策(コロナ)については、職員に対する徹底した行動規範(コンプライアンス)の強化をした。田岡病院関係の協力により、利用者のワクチン接種を実施した。クラスターの発生によりやむなく事業所閉鎖を行った。送迎車内の感染予防策、作業室の分離などさらなる対策の強化を行った。
- 2 重度障がい者グループホーム実現に向けて準備を行った。結果、女性棟において社会福祉法人清水基金より1,000万円の助成金が採択された。令和6年度開所に向けて整備を進めていく。
- 3 工賃向上に向けて、専任の営業担当を雇用した。施設外就労先を積極的に開拓し、新たに2か所が増えた。販路拡大会議を定例化(毎月開催)し、事業所間の情報共有、販売促進に努めた結果、売上45,550,847円(前年比127.3%)、月平均工賃額(B型)11,656円(前年度比111.7%)を達成した。農福事業として、蕎麦(東みよし)、ミシマサイコ、ヨモギ(神山)の栽培に取り組んだ。蕎麦は収穫量1tを目標としていたが約330Kgの収穫となった。約9反に広げてきた蕎麦の栽培においては、JA統合の煽りを受け、アグリサポートは業務縮小され、汎用性コンバインが売却されたことでこの規模の管理・収穫が困難となり、圃場を縮小することとなった。神山圃場については、利用者の従事環境が整わないことや道路拡幅工事に伴う圃場縮小等により、令和4年度をもっていったん休止することとした。
- 4 専門性のある管理職を採用し組織体制強化に努めた。キャリアアップの観点から、3名を正規職員、1名を臨時職員に転換した。資格取得を推進し、社会福祉士1名、精神保健福祉士1名、介護福祉士7名が合格した。うち6名がTAOKAメディケアスクールを活用した。

2.高齢部門

具体的な重点項目

- 1 感染症対策(コロナ)については、令和2年度のクラスター発生を教訓にし、職員に対する徹底した行動規範(コンプライアンス)の強化を行った。また、きたじま田岡病院・田岡病院の協力の元、利用者・職員の早期のワクチン接種を実施した。それでも罹患者は出たものの利用者は1名も出さずクラスターに発展することなく収束することができた。
- 2 ライムにおいては、老朽化により温冷配膳車の修理やベッドモーターの交換、業務用洗濯機の修理等の修繕を行った。
安定した経営を目指すため、入所率95%を目指していく。
- 3 令陽においては3年目を迎え、早期の満床を目指したが目標は達成できなかった。
今後も入所率95%を目指し、安定した経営が持続していけるよう取り組んでいく。

- 4 ようこそにおいては、入院者や入所される方が多く不安定な利用者数となっており伸び悩んでいたが、年度末には7.5人/日まで回復することができた。認知症の方や家族が安心して利用できる場所の提供が行えるよう今後も努めていく。
- 5 職員のキャリアアップの視点から、新型コロナウイルス感染症の影響により外部研修は参加せず、内部研修に重点を置いたが、介護労働者雇用管理責任者講習を1名、認知症対応型サービス事業管理者研修を1名、アンガーマネジメント研修を1名受講した。
- 5 人材の確保及び育成を進める中で、EPAの外国人介護福祉士候補生が新たに1名増え、ベトナム3名、インドネシア3名となり、個々のスキルアップに努めた。その結果介護福祉士国家試験に4名が挑戦し全員が合格することができ、引き続き来年度もライムで仕事することとなった。来年度は、インドネシアから新たに2名受け入れる予定であり、開発途上国との経済交流の推進と人材育成の充実を図っていく。

3.法人事務

日程	内容	提案事項	
R4.6.11	理 事 会	① 令和3年度事業報告案 ② 令和3年度決算報告案 ③ 運営規程の変更(障がい) ④ 運営規程の変更(ケアセンター) ⑤ 評議員会の開催について	書面
R4.6.26	評 議 員 会	① 令和3年度事業報告案 ② 令和3年度決算報告案	書面
R4.12.17	理 事 会	① 理事退任と理事選任案 ② 評議員退任と評議員候補者推薦 ③ 評議員選任・解任委員の選任について ④ 法人本部事務局長について ⑤ 評議員会の開催について ⑥ ライム、令陽の施設長人事について ⑦ れもんホーム7の建築と補正予算	書面
R4.12.25	評 議 員 会	① 理事退任と選任について	書面
R5.1.26	評議員選任解任委員会	① 評議員の退任及び選任について	Zoom
R5.3.30	理 事 会	① 令和5年度事業計画案 ② 令和4年度補正予算案並びに令和5年度予算案 ③ 定款変更について ④ 経理規程の一部改訂について ⑤ 運営規程の変更について ⑥ 変更届提出について	書面

令和 5 年 3 月 31 日現在の職員数は下記の通りである。

【障がい部門】

	正規職員	臨時職員	スーパーバイザー・嘱託	パート職員	計
男性	22	3	6	6	37
女性	31	7	1	81	120
計	53	10	7	87	157
平均年齢(歳)	42.4	46.1	64.6	52.6	49.3
平均勤続年数(年)	11.5	3.1	4	5.7	7.4

【高齢部門】

	正規職員	臨時職員	スーパーバイザー	パート職員	計
男性	6	2	0	2	10
女性	20	6	0	14	40
計	26	8	0	16	50
平均年齢(歳)	46.9	44.6	0	38.5	43.3
平均勤続年数(年)	7.2	4.3	0	3.1	4.9

(1) 令和 4 年度採用者

【障がい部門】

	正規職員	臨時職員	スーパーバイザー・嘱託	パート職員	計
男性	0	1	1	0	2
女性	4	1	0	10	15
計	4	2	1	10	17

【高齢部門】

	正規職員	臨時職員	スーパーバイザー	パート職員	計
男性	0	2	0	0	2
女性	1	3	0	6	10
計	1	5	0	6	12

(2)令和4年度退職者

【障がい部門】

	正規職員	臨時職員	スーパーバイザー・嘱託	パート職員	計
男性	2	0	2	0	4
女性	1	0	0	4	5
計	3	0	2	4	9

※退職者の平均勤続年数は8年4か月である。

【高齢部門】

	正規職員	臨時職員	スーパーバイザー	パート職員	計
男性	1	3	0	1	5
女性	4	2	0	5	11
計	5	5	0	6	16

※退職者の平均勤続年数は3年5か月である。